



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	8,122	32.0	3,684	26.5	695	30.2	862	35.1
2023年9月期第2四半期	6,153	20.7	2,911	27.4	533	△14.5	638	△5.9

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 526百万円 (41.5%) 2023年9月期第2四半期 372百万円 (△7.5%)

	経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭		円 銭	
2024年9月期第2四半期	761	32.3	477	25.8	30.78		30.51	
2023年9月期第2四半期	575	△4.2	379	△4.6	24.82		24.31	

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円			%
2024年9月期第2四半期	11,162		6,534		55.3	
2023年9月期	9,995		6,039		57.9	

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 6,175百万円 2023年9月期 5,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	15,860	20.1	7,370	20.0	1,270	10.1	1,570	10.5	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ユウクリ、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	15,535,860株	2023年9月期	15,509,960株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	154株	2023年9月期	124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	15,525,683株	2023年9月期2Q	15,306,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国内経済の正常化が進み、景気回復の兆しが見られています。一方で、資源価格の高騰や物価上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、社会全体の人手不足が深刻化し、企業は人材確保の課題に直面しています。一方で、個人の自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方へのシフトが進んでいます。

政府は、賃金上昇を伴う円滑な労働移動の重要性を掲げ、様々な施策を実行しています。その一例として、フリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」が2024年秋頃までに施行される見込みであり、フリーランスを始めとする多様な働き方がより推奨される社会が実現されようとしています。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッションに、「世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる」をビジョンに掲げ、マッチング事業を基幹として人材流動化を促進し、日本の企業の生産性向上を支援しています。昨今の状況は当社グループにとって追い風であり、2024年3月末時点で登録ユーザー数は632.6万人（前年同期比+73.8万人）、登録クライアント数は97.4万社（前年同期比+6.9万社）となりました。また、中期経営目標「YOSHIDA300」において掲げる、売上高300億円、EBITDA（Non-GAAP）25億円、営業利益成長率+10%以上（通期ベース）の実現に向け、既存事業の成長並びにSaaS事業を含む新規事業の拡大、M&Aに引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、企業のIT人材の獲得競争が激化し、週3~4日稼働のフリーランスニーズや業務のデジタル化ニーズが増える中、当社では認定ワーカー制度によるワーカー単価の向上や、アカウントセールス体制強化による1社あたりの契約単価の向上に努めています。また、コンサルティング事業を開始し、企業の経営課題に対する解決策の提案から、施策を実行する人材の提供まで一貫して支援する体制を構築しています。当社が長年行ってきた生産性向上文化を経営モデルとして外販し、経営改善やDX化への取り組みを推進しています。

ビジネス向けSaaS事業「クラウドログ」においては、一般の人的資本経営の機運の高まりにより、組織やプロジェクトにおける工数管理と生産性の見える化ニーズが高まったことで、大企業や成長企業を中心に導入が進んでいます。このため、引き続き大企業の開拓に努めています。また、PCのシステムログから工数を自動で収集できる機能拡張により、工数管理ツールが浸透していない業種への導入も推進しています。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びビジネス向けSaaS事業との親和性が高い事業への投資について、規律をもって進めています。また、M&A後の企業の経営改善はPMIにより順調に推移しており、全社の成長に貢献しています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高8,122,123千円（前年同期比32.0%増）、売上総利益は3,684,735千円（前年同期比26.5%増）、営業利益は695,343千円（前年同期比30.2%増）、EBITDA（Non-GAAP）は862,970千円（前年同期比35.1%増）、経常利益は761,209千円（前年同期比32.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は477,920千円（前年同期比25.8%増）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

取引額の総額を示すGMV（流通取引総額）は13,562,521千円（前年同期比23.4%増）、売上高は7,784,021千円（前年同期比31.1%増）、売上総利益は3,351,763千円（前年同期比24.2%増）、セグメント利益は714,492千円（前年同期比9.8%増）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高および売上総利益は292,853千円（前年同期比59.6%増）、セグメント損失は59,372千円（前年同期のセグメント損失は147,334千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,162,337千円となり、対前期末比で1,167,316千円増加いたしました。流動資産は対前期末比で1,095,843千円の増加となり、その主な内訳は、現金及び預金が630,677千円、売掛金が239,417千円が増加したものであります。固定資産は対前期末比で71,472千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが321,969千円増加したものの、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が219,861千円減少したものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は4,627,835千円となり、対前期末比で671,870千円増加いたしました。流動負債は対前期末比で591,836千円の増加となり、その主な内訳は、未払金が103,856千円、未払法人税等が166,012千円、預り金が115,792千円増加したものであります。固定負債は対前期末比で80,034千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金74,200千円増加したものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,534,501千円となり、対前期末比で495,445千円増加いたしました。純資産の増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益477,920千円の計上であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月9日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,898	6,365,575
売掛金	1,100,600	1,340,018
未収入金	971,553	1,019,623
営業投資有価証券	38,549	29,218
その他	78,264	262,563
貸倒引当金	△20,254	△17,545
流動資産合計	7,903,611	8,999,454
固定資産		
有形固定資産	62,815	52,520
無形固定資産		
のれん	1,239,952	1,561,922
その他	10,290	5,200
無形固定資産合計	1,250,243	1,567,123
投資その他の資産		
その他	784,703	550,521
貸倒引当金	△6,352	△7,283
投資その他の資産合計	778,351	543,238
固定資産合計	2,091,409	2,162,882
資産合計	9,995,020	11,162,337
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,716	566,148
未払金	1,028,110	1,131,967
未払法人税等	127,167	293,180
契約負債	429,884	417,045
預り金	1,227,298	1,343,091
その他	393,748	580,329
流動負債合計	3,739,925	4,331,761
固定負債		
長期借入金	163,189	237,389
その他	52,850	58,685
固定負債合計	216,039	296,074
負債合計	3,955,964	4,627,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751,307	2,765,535
資本剰余金	2,709,307	2,617,719
利益剰余金	298,273	732,762
自己株式	△169	△221
株主資本合計	5,758,718	6,115,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,690	59,260
その他の包括利益累計額合計	25,690	59,260
新株予約権	231,102	264,929
非支配株主持分	23,545	94,515
純資産合計	6,039,056	6,534,501
負債純資産合計	9,995,020	11,162,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,153,259	8,122,123
売上原価	3,241,282	4,437,387
売上総利益	2,911,976	3,684,735
販売費及び一般管理費	2,378,046	2,989,391
営業利益	533,930	695,343
営業外収益		
預り金失効益	56,938	34,814
助成金収入	—	38,047
その他	2,136	11,770
営業外収益合計	59,075	84,632
営業外費用		
持分法による投資損失	7,555	—
為替差損	9,475	—
出資金運用損	102	13,277
その他	671	5,488
営業外費用合計	17,805	18,766
経常利益	575,200	761,209
特別利益		
新株予約権戻入益	—	11,438
特別利益合計	—	11,438
税金等調整前四半期純利益	575,200	772,648
法人税等	195,244	279,560
四半期純利益	379,955	493,088
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	15,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,955	477,920

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	379,955	493,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,832	33,570
その他の包括利益合計	△7,832	33,570
四半期包括利益	372,123	526,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,123	511,490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	15,168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,200	772,648
減価償却費	10,430	15,628
のれん償却額	13,622	85,395
株式報酬費用	80,623	66,602
持分法による投資損益(△は益)	7,555	—
売上債権の増減額(△は増加)	△104,286	△95,619
未収入金の増減額(△は増加)	△147,246	△47,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,062	△7,424
未払金の増減額(△は減少)	△4,958	41,613
預り金の増減額(△は減少)	70,957	16,077
契約負債の増減額(△は減少)	22,271	△17,633
その他	6,385	△15,694
小計	528,493	813,927
利息及び配当金の受取額	19	24
利息の支払額	△611	△3,289
法人税等の支払額	△89,490	△68,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	438,410	741,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△85,022	△84,605
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	30,486
出資金の払込による支出	△60,062	△20,000
その他	△4,579	△925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,663	△75,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△25,556	△23,406
株式の発行による収入	72,078	7,119
その他	—	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,522	△16,338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	335,269	650,281
現金及び現金同等物の期首残高	5,117,461	5,734,898
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	100,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,452,730	6,486,063

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,039,916	450	1,040,366	—	—	1,040,366
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,896,725	182,987	5,079,712	—	—	5,079,712
顧客との契約から生じる収益	5,936,641	183,437	6,120,078	—	—	6,120,078
その他の収益	—	—	—	33,181	—	33,181
(1) 外部顧客への売上高	5,936,641	183,437	6,120,078	33,181	—	6,153,259
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,936,641	183,437	6,120,078	33,181	—	6,153,259
セグメント利益又は損失(△)	650,444	△147,334	503,109	30,820	—	533,930

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、Peaceful Morning株式会社の全株式を取得し、同社を完全子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては136,965千円でありません。

当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,079,790	18,710	1,098,500	—	—	1,098,500
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	6,704,231	274,038	6,978,269	8,134	—	6,986,404
顧客との契約から生じる収益	7,784,021	292,748	8,076,770	8,134	—	8,084,905
その他の収益	—	—	—	37,218	—	37,218
(1) 外部顧客への売上高	7,784,021	292,748	8,076,770	45,352	—	8,122,123
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	105	105	—	△105	—
計	7,784,021	292,853	8,076,875	45,352	△105	8,122,123
セグメント利益又は損失(△)	714,492	△59,372	655,120	40,223	—	695,343

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては169,016千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社蒼天の株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては126,437千円であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。